

福祉生活病院常任委員会資料

(令和6年10月8日)

【 件 名 】

- 「とっとり手話フェス 2024」の開催結果について
(障がい福祉課)・・・2
- 「あいサポートフェスとっとり 2024」について
(障がい福祉課)・・・7
- 「ご当地体操交流大会×鳥取方式フレイル予防」の開催について
(長寿社会課・健康政策課)・・・8
- ハンセン病療養所県民交流事業の実施について
(健康政策課)・・・9
- 新型コロナワクチンの定期接種について
(感染症対策センター)・・・10

福 祉 保 健 部

「とっとり手話フェス 2024」の開催結果について

令和6年10月8日
障がい福祉課

手話パフォーマンス甲子園を中心とする手話イベント「とっとり手話フェス 2024」を9月21日（土）から23日（月・祝）に開催しましたので、その結果を報告します。

1 とっとり手話フェス 2024 オープニングセレモニーの概要

- (1) 開催日時：令和6年9月21日（土）午前11時から午前11時10分まで
- (2) 開催場所：米子コンベンションセンター 多目的ホールホワイエ（米子市末広町294）
- (3) 内容：とっとり手話フェス 2024 の開幕宣言
①挨拶 平井知事、鳥取県聴覚障害者協会情報・コミュニケーション委員会 戸羽委員長
②手話パフォーマンス甲子園 出場校生徒による抱負発表（地元代表：米子東高等学校）
③鳥取大学手話サークル「うさぎのて」によるイベントPR 等
- (4) 参加者：一般来場者、手話パフォーマンス甲子園出場生徒、手話フェス協力団体 等

＜オープニングセレモニーの様子＞



2 第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園本大会の概要

- (1) 開催日時：令和6年9月22日（日）午前9時30分から午後4時10分まで
- (2) 開催場所：米子コンベンションセンター 多目的ホール
- (3) 演技内容：手話を使った歌唱、ダンス、演劇、コントなどのパフォーマンス
- (4) 出場チーム：15府県から、全16チーム（19校）が出場
※本県からは、鳥取城北高等学校、米子東高等学校が出場。
- (5) 来場者数：約2,000名
- (6) 大会結果

【演劇・コント・ポエム等部門】

表彰内容	チーム名	演技区分	演技タイトル	得点
優勝	熊本豊学校（熊本県）	コント	ときそば今様	211点
準優勝	大宮ろう学園（埼玉県）	演劇・ポエム	小さな命を育む	197点
第3位	済美平成中等教育学校・松山聾学校（愛媛県）	演劇	ディナーテーブル症候群	195点
審査員特別賞	石川県立ろう学校・田鶴浜高等学校（石川県）	演劇・ポエム	能登から“つなぐ” みんなの未来	-

【ダンス・歌唱部門】

表彰内容	チーム名	演技区分	演技タイトル	得点
優勝	久米田高等学校（大阪府）	ダンス	ありのままの自分	212点
準優勝	五ヶ瀬中等教育学校・宮崎日本大学高等学校（宮崎県）	歌唱	被災、別れからの復興 ～亡き母からのメッセージ 「ハナミズキ」に乗せて～	199点
第3位	明誠学院高等学校（岡山県）	歌唱	窓の外には ～優しい心が一番 大切だよ～	189点
審査員特別賞	足立東高等学校（東京都）	ダンス	にじいろ	-

【各団体賞】

表彰内容	チーム名	演技区分	演技タイトル	得点
全日本ろうあ連盟賞	北九州市立高等学校（福岡県）	ダンス	太陽手に月は心の両手に	-
日本財団賞	神戸野田高等学校（兵庫県）	ダンス	Challenger ～見せつけろ！ど根性！～	-
鳥取県聴覚障害者協会賞	聖光学院高等学校（福島県）	演劇	個性の尊重	-

※上記以外の本大会出場5チームに、手話パフォーマンス奨励賞を授与

《審査方法》 審査員長及び各部門4名の審査員の審査得点を合計。（最大230点）

種別	人数	審査項目	配点
ろうの審査員	5名	① 手話の正確性・伝わりやすさ ② 演出力・パフォーマンス度	20点 30点（合計50点）
きこえる審査員	4名	① 手話の正確性・伝わりやすさ ② 演出力・パフォーマンス度	10点 30点（合計40点）

＜演劇・コント・ポエム等部門優勝：熊本聾学校＞ ＜ダンス・歌唱部門優勝：久米田高等学校＞



(7) 出演者等

担当	氏名(敬称略)	よみ	所属等
総合司会	村上 真吾	むらかみ しんご	NHK 鳥取放送局アナウンサー
	松原 史栞	まつばら しおり	米子高等学校3年生
	織奥 莉実	おりおく りみ	米子高等学校2年生
演技司会	早瀬 憲太郎	はやせ けんたろう	学習塾「早瀬道場」塾長
	田中 更	たなか さら	米子高等学校2年生
	角田 茉音	すみだ まお	米子高等学校2年生
審査員長 (両部門)	庄崎 隆志	しょうざき たかし	演出家・劇作家・俳優
審査員 (演劇・コント・ポエム等部門)	河原 雅浩	かわはら まさひろ	全日本ろうあ連盟副理事長
	大城 桜子	おおしろ ようこ	俳優
	谷 進一	たに しんいち	聾宝手話映画・代表
	川井田 祥子	かわいだ さちこ	鳥取大学地域学部教授・鳥取大学附属特別支援学校校長
審査員 (ダンス・歌唱部門)	岡崎 伸彦	おかざき のぶひこ	手話エンターテイメント発信団 oioi(おいおい)代表理事
	Nyanko	にゃんこ	モデル・手話歌パフォーマー
	北村 仁	きたむら じん	株式会社ユーディフル・UDダンス®
	濱本 道子	はまもと みちこ	鳥取ダンス協会 理事

(8) 令和6年能登半島地震義援金贈呈式

- ・手話パフォーマンス甲子園実行委員会と大会共催者の鳥取県聴覚障害者協会と、過去の手話パフォーマンス甲子園参加校を中心に、能登半島地震で特に被害が甚大であった石川県の大会参加校（3校）への義援金と応援メッセージの呼びかけを行った。
- ・開会式では、被災地招待枠で出場した石川県立ろう学校、田鶴浜高等学校の代表者に、平井知事及び鳥取県聴覚障害者協会 下垣理事長からそれぞれ、出場校から寄せられた応援メッセージを手渡した。（今回大会参加のなかった金沢北陵高等学校には後日送付。）
- ・また、集まった義援金総額 216,960 円を3等分して、後日各校にお渡しした。



＜応援メッセージを各校代表者に
手渡す平井知事と下垣理事長＞

(9) ねんりんピック大会オリジナルソング・東京2025デフリンピックPRコーナー

- ・「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」の大会オリジナルソングとダンスを披露しPRを行った。
- ・日本で初めて開催される「東京2025デフリンピック」（令和7年11月開催）の大会成功に向けた機運醸成のため、PR映画「みんなのデフリンピック」の上映に加え、デフリンピック応援アンバサダー 長濱ねるさんから大会出場校へ向けた応援メッセージの動画を紹介した。

3 佳子内親王殿下のおことばについて

- ・今大会は、前日の交流会及び本大会に御臨席いただいた。
- ・本大会開会式では、鳥取県は手話に関する取組が活発に行われてきたとして、小学生向けの手話検定「手話チャレ」や県作成の「手話ハンドブック」で勉強されたこと、また、本県で始まった「あいサポート運動」が今年15周年を迎えることに触れられ、「このような取組やこの大会を通して、手話を含む様々な言語、きこえないこと、きこえにくいこと、自分とは異なる背景や状況に対する理解が深まることを願っています」と、手話によるおことばを賜った。
- ・また、大会では2部門全チームのパフォーマンスを御覧になり、閉会後には各部門の優勝チームの代表者各2名と御歓談いただいた。

＜開会式でのおことば＞



＜優勝チームとの御歓談の様子＞



4 とっとり手話フェス LIVE2024

- (1) 開催日時：令和6年9月23日(月・祝) 午後2時から午後5時20分まで
- (2) 開催場所：米子コンベンションセンター 多目的ホール
- (3) 出演者：HANDSIGN (手話パフォーマンス甲子園テーマソングを提供)、May J. (歌手)、DOZAN11 aka 三木道三 (レゲエDJ)、ハジ→ (歌手)、ウエスP (お笑い芸人)、江副 悟史 (男組・ろう者)、菊地 浩輔 (よしもと手話ブ)、庄崎 隆志・門 秀彦・田辺和弘トリオ (ろう俳優・絵描き・コントラバス奏者)、ろう・難聴手話パフォーマー ほか
- (4) 内 容：音楽やダンス、お笑いを手話で楽しめるエンターテインメントライブ
 - ・今回は、ろう者ときこえる人とのコラボコント披露や、ろう俳優による手話パフォーマンスも交え、バラエティーに富んだ内容で実施した。
 - ・人気アーティストの歌唱をプロの手話パフォーマーが手話で表現し、一緒になって観客を魅了するなど、情報保障もエンターテインメント化した。(来場者数：約1,100人)

<出演者集合写真>



<盛り上がる会場内>



5 エアカフェ

- (1) 開催日時：令和6年9月22日(日)から9月23日(月・祝)まで(各5回実施)
- (2) 会場：米子コンベンションセンター 多目的ホールホワイエ
- (3) 内容：聴覚がい者のアテンドスタッフが店員となり、リアルな飲食は伴わず、言葉以外のコミュニケーションによる対話を体験できる、想像力で楽しむカフェ。
- (4) 体験者の声
 - ・ろう者の表現が見られて楽しかった！引き込まれて本当におなかが好きでした！
 - ・普段から手話に関する活動に参加していても新しい発見があった。
 - ・2日間連続で体験したが、楽しかった。手話の勉強中なので参考になった。

6 絵描き・門 秀彦さんのアートワークショップ

- (1) 開催日：令和6年9月22日(日)午後、23日(月・祝)午前(各1回実施)
- (2) 会場：米子コンベンションセンター 情報プラザ
- (3) 内 容
 - ・コーデの絵描き・門 秀彦氏による手話をモチーフとしたイラスト表現のワークショップ。
 - ・門氏のライブペインティングとともに、来場者もクレヨンやアクリル絵の具で、自由に自分の想いを絵で表現し、きこえない、きこえにくい、きこえるに関係なく交流。
 - ・ワークショップ開催前には、鳥取県手話サークル連絡協議会の協力のもと、絵本の読み聞かせ(手話言語・日本語)も行い、親子連れをはじめ、幅広い年齢層の方が楽しんだ。

7 鳥取大学手話サークル「うさぎのて」ワークショップ

- (1) 開催日：令和6年9月21日(土)～23日(月・祝)(期間中7回実施)
- (2) 会場：米子コンベンションセンター 情報プラザ
- (3) 内 容
 - ・カードを使った「仲間探し」のゲームを通して、声に頼らずジェスチャーで表現して人に伝えられる楽しさを感じてもらおうオリジナルワークショップ。
 - ・性別・年齢に関わらず、知らない者同士でも一体感を感じながらゲームを楽しんだ。

8 その他会場内の催し

- ミニ手話体験教室、ミニ触手話体験教室
- 東京 2025 デフリンピック応援ブース（東京都機運醸成チームによる出展）
- あいサポートマルシェ（障害福祉サービス事業所による食べ物や雑貨の販売）
- 県内高校生による販売コーナー（倉吉農業高等学校）
- 鳥取聾学校写真作品展
- ICT 機器紹介コーナー
- 大会公式グッズの販売
- 協賛企業コーナー など

9 今後の取組

第 11 回手話パフォーマンス甲子園を含む、とっとり手話フェス 3 日間の成果・経験を踏まえ、より一層手話言語への理解・普及を進め、共生社会の実現に向けた魅力のあるイベントとなるよう準備を進めて行く。

■第 11 回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 出場チーム及び演技情報

部門	順	学校名	都道府県	演技分類	回数	演技タイトル
演劇・ コント・ ポエム等 部門	1	石川県立ろう学校 田鶴浜高等学校	石川県	演劇 ポエム	2 11	能登から” つなぐ” みんなの未来
	2	鳥取城北高等学校	鳥取県	手話語り	8	「鍵」
	3	済美平成中等教育学校 松山聾学校	愛媛県	演劇	2 6	ディナーテーブル症候群
	4	京都府立聾学校	京都府	演劇	4	私たちが出会ったもの
	5	聖光学院高等学校	福島県	演劇	初	個性の尊重
	6	奈良県立ろう学校	奈良県	演劇	11	星のふる森
	7	熊本聾学校	熊本県	コント	10	ときそば今様
	8	大宮ろう学園	埼玉県	演劇 ポエム	3	小さな命を育む
ダンス・ 歌唱 部門	9	米子東高等学校	鳥取県	ダンス	5	夢と絆
	10	北九州市立高等学校	福岡県	ダンス	初	太陽手に月は心の両手に
	11	足立東高等学校	東京都	ダンス	初	にじいろ
	12	松江ろう学校	島根県	歌唱	初	心の中にずっと、あなたを愛している
	13	五ヶ瀬中等教育学校 宮崎日本大学高等学校	宮崎県	歌唱	初	被災、別れからの復興 ～亡き母からのメッセージ 「ハナミズキ」に乗せて～
	14	神戸野田高等学校	兵庫県	ダンス	初	Challenger ～見せつけろ！ど根性！～
	15	明誠学院高等学校	岡山県	歌唱	4	窓の外には ～優しい心が一番大切だよ～
	16	久米田高等学校	大阪府	ダンス	2	ありのままの自分

「あいサポートフェスとっとり2024」について

令和6年10月8日
障がい福祉課

令和6年度に「あいサポート運動15周年」及び「鳥取県障がい者舞台芸術祭10周年」を迎えることを記念するとともに、あいサポート運動及び障害者差別解消法に係る取組の更なる推進と、2025年大阪・関西万博及びその先を見据えた障がい者の文化芸術活動の一層の振興を図るため、「あいサポートフェスとっとり2024」を開催します。

- 1 日時 令和6年11月8日（金）午後1時から同月10日（日）午後4時 まで
- 2 場所 エースバック未来中心大ホール、小ホール、アトリウム等（倉吉市駄経寺町212-5）
※オンライン配信も実施
- 3 主催 鳥取県
- 4 内容

（1）ステージイベント（大ホール、アトリウム仮設ステージ）

① あいサポート運動15周年記念セレモニー（11月8日（金）午後1時から午後3時まで）

- ・あいサポート運動15年の歩みの紹介
- ・あいサポート運動テーマソングの披露
- ・優良あいサポート企業・団体による活動事例報告

② 「あいサポート・アートとっとり祭（鳥取県障がい者舞台芸術祭）10周年祭」

（11月9日（土）～10日（日） 両日とも午前10時から午後4時まで）

- ・県内公募団体パフォーマンスステージ（9日、10日）約25団体
- ・地元の園児や高校生による合唱及び書道パフォーマンス（9日）
- ・ゲストステージ
DJYUTA&YOICHI（障がい者の国際舞台芸術コンクールで優勝実績のある倉吉市在住の井谷優太氏が参加するユニット）（9日）、大前光市（おおまえこういち）氏（2016年のリオ・パラリンピックの閉会式でパフォーマンスを披露した義足のダンサー）（10日）、米良美一（めらよしかず）氏（代表曲「もののけ姫」）（10日）など
- ・万博PRステージ（9日）

令和6年度「日本博2.0を契機とする文化資源コンテンツ創成事業」（文化庁／全国手をつなぐ育成会連合会）との連携による万博PRステージとして、瑞宝（ずいほう）太鼓（長崎県／障がい者によるプロの太鼓集団）によるステージ発表を実施。（地元団体とのコラボステージもあり。）

（2）会場イベント（11月9日（土）～10日（日）両日とも午前10時から午後4時まで／小ホール、セミナールーム、ホワイエ）

① 障がい体験や障がいのある人とない人が一緒に楽しめる体験型イベント

- ・ゆるスポーツ（年齢や性別、障がいの有無等に関わらず誰でも一緒に楽しめるスポーツ体験）
- ・発達障がいVR体験（発達障がいの特性をVRで体験して障がいへの理解を促進）
- ・リアル対話ゲーム「囚われのキミは」（障がいのある人との対話やゲームを通じて多様性への理解を促進）

② ワークショップ・啓発展示等

あいサポート運動啓発展示、万博PRブースの設置、ワークショップ（バルーン工作等）、障がい福祉サービス事業所によるあいサポートマルシェ、琴の浦高等特別支援学校生徒によるあいサポートカフェ、スタンプラリーなど

「ご当地体操交流大会×鳥取方式フレイル予防」の開催について

令和6年10月8日
長寿社会課、健康政策課

平成28年度から開催している「とっとりご当地体操交流大会」と令和5年度に基本方針等を定め取組を開始した「鳥取方式フレイル予防」のコラボイベントをねんりんピック連携事業として開催します。

今年度は従来のご当地体操による交流に加え、フレイル予防のうち特にロコモティブシンドローム(※)に着目したイベントを予定しており概要について報告します。

※ロコモティブシンドローム…日本整形外科学会が提唱した概念で、年齢を重ねることによる筋力の低下、関節や脊椎などの病気を発症したりすることで運動器の機能が低下し、立ったり、歩いたりといった移動機能が低下した状態

1 開催趣旨

「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」の開催を契機として、大会の盛り上げや本県が主要事業に掲げる「フレイル予防」対策事業を推進し、100年ライフを楽しめる鳥取県を目指し大会会期中に開催するもの。

2 日時・会場

10月21日(月) 午前10時30分から午後3時まで、米子コンベンションセンター2階小ホール

3 イベント内容

(1) ご当地体操交流大会

- 鳥取県介護予防アドバイザー 加藤敏明 氏を進行役に官民一体型フレイル予防事業の紹介等
- ご当地体操紹介(参加団体:鳥取市、米子市、湯梨浜町、南部町、岐阜市(次期開催県))

(2) 記念講演「フレイル(ロコモ)予防!中高年の運動・身体活動!」

- 鳥取大学医学部附属病院副院長・整形外科教授 永島英樹 氏による講演
- 整形外科医の観点からのワンポイントアドバイス、こけないからだづくりや高齢者に多い骨折とその弊害や予防などを伝授

(3) フレスマとーく

- シン・現役世代リーダー 川口和久 氏、鳥取大学医学部附属病院理学療法士 和田崇 氏、運動健康指導士 澤晶子 氏によるフレイル予防に役立つお得なトークと自宅で誰でもできる運動を披露

(4) 「フレスマ弁当」(※)の予約販売

※県民の皆さんが、「フレ」イルを予防して「スマ」イルになれるようたんぱく質・野菜たっぷり、地元の食材を使い彩りよくをコンセプトに鳥取県・鳥取県栄養士会・県内企業が協働開発したお弁当

(5) ITを使った認知症予防「自宅で健康プログラム」(※)の紹介と体験

※外出、参集が困難な状況でもライフスタイルに合わせて自宅で、脳とからだの健康を維持できるよう、スマホやパソコンで視聴できるオンライン健康プログラム動画を配信中(無料、令和7年3月まで)。

(参考1)「とっとりご当地体操交流大会」について

市町村が住民の健康の維持・増進を目的に各市町村が考案した「ご当地体操」を一堂に集めPRする「とっとりご当地体操交流大会」を平成28年度から開催している。

(参考)「とっとりご当地体操交流大会の開催状況」

H28年度	9/1 倉吉未来中心で開催(10市町、参加者172名)
H29年度	9/8 米子コンベンションセンターで開催(10市町、参加者196名)
H30年度	9/16 イオンモール鳥取北、9/17 イオンモール日吉津で開催(10市町村、参加者152名)
R元年度	9/29 イオンモール日吉津、10/19 イオンモール鳥取北で開催(10市町村、参加者162名)
R2,3年度	コロナ禍により中止
R4年度	12/9 鳥取市民交流センター麒麟square 他7会場をつなぎオンラインで開催(8市町、参加者約250名)
R5年度	11/30 鳥取砂丘コナン空港、12/4 皆生グランドホテル天水の県内2会場で、「フレイル予防」と「食と栄養」に着目したご当地体操×ご当地健康料理交流大会開催(7市町、参加者約320名)

(参考2)「鳥取方式フレイル予防」について

鳥取方式フレイル予防とは、全世代に向けて、関係機関・団体の相互連携による認知度アップ・無関心層への啓発、世代の特性に応じた支援メニューの提供、多様な主体への活動支援などの取組を行うもの。

<令和5年度「鳥取方式フレイル予防フェア」の概要>

「鳥取方式フレイル予防対策検討会」を組織して県としての基本方針や具体的な進め方を議論し、その方針に沿ったキックオフイベントとして、関係団体等と連携し、以下のとおり県民向け啓発イベントを実施した。

- 「シン・現役世代リーダー」任命式
- 基調講演「鳥取県の健康寿命が大ピンチ!~人生百年時代はフレイル予防から~」
- トークセッション(川口氏の健康度測定結果を鳥取大学医学部の教授陣4名が深掘り解説)

ハンセン病療養所県民交流事業の実施について

令和6年10月8日
健康政策課

ハンセン病人権問題への理解を深めるため、一般県民の参加を募り（10/14まで募集中）、国立ハンセン病療養所を訪問する「ハンセン病療養所県民交流事業」を実施します。

1 事業概要

- (1) 実施日時 令和6年10月24日（木） 午後0時30分から午後4時45分まで（予定）
- (2) 訪問先 国立療養所長島愛生園、国立療養所邑久光明園（岡山県瀬戸内市邑久町虫明）

2 訪問内容（予定）

- (1) 人間回復の橋「邑久長島大橋」見学
 - ※ 昭和63年5月9日に本州と長島を結ぶ橋として開通
- (2) 邑久光明園
 - ① 監禁室見学 ※ 世界遺産登録に向けて整備された施設
 - ② 資料館見学
 - ③ 納骨堂お参り、焼香
- (3) 長島愛生園
 - ① 歴史館展示室見学、ビデオ視聴
 - ② 歴史回廊見学
 - ・収容棧橋（到着した患者が初めて島に上陸した場所）
 - ・回春寮（入所手続、消毒等を実施）
 - ・監房（逃走、秩序を守らない入所者を懲戒的に収監）
 - ③ 納骨堂お参り、焼香
 - ④ 歴史館学芸員による継承講話

3 その他

- (1) 昨年度参加者の感想（抜粋）
 - ・コロナが出たときの状況と重なると思った。間違った情報や思い込みに惑わされずに、正しい知識を持つことが大切だと痛感した。
 - ・学芸員の講話で、無関心であることが簡単に差別につながる、という言葉が心に残った。積極的に知ろうとすることが力になると思った。
 - ・自分で気づかない言動や行動が人を傷つけているかもしれない。間違った情報に振り回されず、自分の考えをしっかりと持ちたい。
 - ・療養所の過酷な生活の中でも絵画や音楽など素晴らしい文化活動をしながら人生を送られたことに感銘を受けた。
- (2) これまでの参加者数
R5:25人、R4:6人、R3:9人、R元:44人、H30:53人、H29:56人、H28:47人
※平成13年から実施。令和2年はコロナのため中止、令和3年及び4年は規模を縮小して実施。

新型コロナワクチンの定期接種について

令和6年10月8日
感染症対策センター

新型コロナワクチンについては、令和6年10月から、65歳以上の方等を対象に定期接種が開始され、インフルエンザワクチンと同様に、医療機関での個別接種が行われます。

各市町村での定期接種が円滑に実施されるよう、県としても、国からの情報の迅速な共有はもとより、各市町村と協力して必要な情報発信を行うなど連携して対応します。

1 令和6年度の新型コロナワクチン定期接種の概要

新型コロナウイルス感染症は、インフルエンザと同様に、予防接種法のB類疾病に位置付けられ、定期接種の対象とされた。B類疾病の予防接種は、個人予防に重点を置くものであり、接種の努力義務はなく、対象者本人が希望する場合に実施するもの。(勧奨なし)

開始時期	・令和6年10月1日以降、順次開始(県内では多くの市町村が接種券を9月中旬にインフルエンザワクチンの接種券と一緒に対象者に郵送)
対象者	・65歳以上の者 ・60歳以上65歳未満の者であって、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能の障害又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有するもの※ ※心臓、腎臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者(予防接種施行規則)
接種間隔・方法	・毎年度1回筋肉内に注射する。
自己負担額	・市町村毎に設定(当センター調べ 9/25 現在) 1,000円～3,690円(15団体が2,000円～2,100円)※ ※生活保護世帯は無料(住民税非課税世帯について無料～1,000円に負担軽減している市町村あり)

※定期接種の対象者以外の方が接種する場合、対象期間外に接種する場合は、任意接種としてワクチンの接種を受けることができる。

2 2024/2025 シーズン用の新型コロナワクチンの種類等

メーカー	ファイザー	モデルナ・ジャパン	第一三共	武田薬品工業	Meiji Seika ファルマ
販売名	コミナティ®	スパイクバックス®	ダイチロナ®	ヌバキソビット®	コスタイベ®
抗原株	SARS-Cov-2 オミクロン株 JN.1 系統				
種別	mRNA		組換えタンパク	mRNA (レプリコン)	
見込み供給量(8/30時点)	約2,527万回		約270万回	約427万回	

※用いるワクチンについては、流行主流のウイルスやワクチンの有効性に関する科学的知見を踏まえて、ワクチンのウイルス株を毎年選択することとされ、今シーズンの抗原株は、WHOの推奨に準拠。

<参考>新たに使用されるワクチン(レプリコンワクチン)について

- ・RNAを複製する酵素(レプリカーゼ)を利用した自己増幅型mRNAワクチン。細胞内に入ったmRNAが一時的に複製され、従来のmRNAワクチンよりも長い時間ウイルスのタンパク質が作られるため、従来型のmRNAワクチンよりも強く免疫が誘導される特徴がある。

3 新型コロナワクチンの有効性等

(1) 有効性

新型コロナワクチンについては、有効性や安全性が確認された上で薬事承認されており、さらに、国内外で実施された研究などにより、新型コロナウイルス感染症にかかった場合の入院や死亡等の重症化等を予防する重症化予防効果が認められたと報告されている。

2023/24 シーズン(令和5年秋冬の接種)において用いられたオミクロン株対応1価ワクチン(XBB.1系統)の効果として、新型コロナウイルス感染症による入院を約40～70%程度予防した等

の報告が国内外でなされている。(国内の報告によれば60歳以上における入院予防効果が44.7%)

(2) 副反応等

新型コロナワクチンの主な副反応として、接種後に注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱等がみられることがあるが、症状の大部分は、接種後数日以内に回復している。稀な頻度でアナフィラキシーが発生したことが報告されているほか、mRNA ワクチンでは、頻度としてはごく稀に、心筋炎や心膜炎を疑う事例等が報告されている。

ワクチン接種後の副反応疑い報告*の状況や健康状況に係る調査の結果については公表されており、新型コロナワクチンの安全性については、定期的に開催されている審議会において、現時点で新たな懸念は認められないと評価されている。

※副反応疑い報告

予防接種法等に基づき、ワクチンの接種後に生じうる副反応を疑う事例について、国が医療機関に報告を求めており、ワクチンの安全性の評価・管理や安全性に関する情報提供に役立てることとされている。(医療機関は、(独)医薬品医療機器総合機構へ副反応疑い事例を報告し、同機構が厚生労働省へ報告)

本県分の報告件数：86件(令和6年9月25日現在)

<参考1>新型コロナワクチンの接種状況(令和6年4月1日国公表データより)

(1) 令和5年秋開始接種(特例臨時接種)の回数 ※令和5年9月20日以降の実績

	全 体		うち高齢者(65歳以上)	
	回数	人口当たり接種率	回数	人口当たり接種率
鳥取県	135,608回	24.8%	96,953回	54.2%
全 国	28,461,681回	22.7%	19,274,509回	53.7%

※12歳以上の3回目以降、5～11歳の3回目以降、6ヶ月～4歳の4回目の接種回数の計

(2) これまでの総接種回数(令和6年3月30日まで)

	総接種回数	うち1回目	うち2回目	うち3回目	うち4回目	うち5回目	うち6回目	うち7回目
鳥取県	1,923,308	448,769 (79.1%) うち高齢者 168,943 (94.4%)	443,807 (78.3%) うち高齢者 168,529 (94.2%)	376,737 (66.9%) うち高齢者 162,345 (90.8%)	268,070 (47.8%)	180,723 (32.5%)	122,459 (22.4%)	82,743 (15.1%)
全国	436,193,341	104,753,261 (80.4%) うち高齢者 33,395,427 (93.1%)	103,464,961 (79.5%) うち高齢者 33,320,953 (92.8%)	86,697,731 (67.1%) うち高齢者 32,995,708 (91.9%)	59,491,484 (46.2%)	38,780,598 (30.4%)	25,470,793 (20.3%)	17,534,513 (14.0%)

※()内は人口当たりの接種率。高齢者は65歳以上。

<参考2>新型コロナワクチン予防接種健康被害救済制度の認定に係る本県の状況

予防接種(定期接種、臨時接種)による健康被害が生じた場合は、予防接種法に基づく救済(医療費・医療手当、死亡一時金等の給付)が受けられる制度が設けられている。(健康被害を受けた個人が、市町村に対して医療費・医療手当等を請求し、国が審査・認定する。)

認定にあたっては、個々の事例毎に、「厳密な医学的な因果関係までは必要とせず、接種後の症状が予防接種によって起こることを否定できない場合も対象とする」考え方で審査が行われている。

(令和6年9月25日現在)

	申請	認定	否認
総件数	52 ※1	36 ※2	10 ※2
うち、死亡一時金・葬祭料に係る件数	8	3	4

※1 複数の給付を同時に申請しているものも1件として計上

※2 複数の給付を同時に申請し、一部認定・一部否認されたものは両方に計上